

令和元年度 第4回今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会 会議録

1 日 時 令和2年2月19日(水) 午前9時00分～午前9時40分

2 会 場 今治市役所 第2別館11階 特別会議室1・2号

3 内 容

議事1 第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について
報告1 地方創生推進交付金事業(平成30年度実施事業)効果検証結果について

4 出席者 <座長>

越智企画財政部長

<専門委員>

瀬野 哲郎	村上 伸幸	山本 一馬	丹下 隆志
宇高 秀志	吉田 和史	吉武美由紀	門田 正孝
赤尾 宣宏	門田 尚樹	吉武 優子	望田 友加
岡村 泰彦	相原 正樹		

<構成員>

森山 徹	和田 浩一	平田 親吾	鳥生 幸司
瀬尾 孝志	品川 二郎	森 会美	藤井 康隆
越智 秀樹	鎌田 浩志	岡本由利香	

<PT及び事業担当者>

高齢介護課	木村 光男	障がい福祉課	森 理
子育て支援課	松岡 敏一	道路課	井手 則緒
下水道業務課	菊川 茂之	消防本部総務課	越智 仁
観光課	渡部 誠也		

<事務局>

(企画課) 秋山課長、越智課長補佐、大政係長、川崎主査、高橋技師
多田

(デロイトトーマツコンサルティング合同会社)

朝日氏 田中氏

令和元年度 第4回今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会 会議録

事務局	<p>本日は、ご多忙の中、お集まりいただきましてありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今より令和元年度第4回「今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会」を開催いたします。</p> <p>私、事務局を務めさせていただきます企画財政部企画課長の秋山でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それではまず、開会に当たりまして、座長の越智企画財政部長からご挨拶申し上げます。</p>
座長	<p>皆様、おはようございます。当懇談会の座長を務めさせていただきます、企画財政部長の越智でございます。どうぞよろしくお願いいたします。本日はお忙しい中お集まりいただき、まことにありがとうございます。</p> <p>これまでのビジョン懇談会でもご案内の通り、現行の「今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」につきましては、今年度、計画期間の満了を迎えるため、来年度からの次期戦略の策定が必要となっております。</p> <p>本日は第2期総合戦略の策定に関する議事1件とさせていただきますので、委員の皆様方のご意見やご了解をいただければと考えてございます。</p> <p>また、8月開催の第2回懇談会において効果検証をしていただきました、地方創生推進交付金事業の結果やご意見につきまして、最終の取りまとめが完了いたしましたので、後ほどご報告させていただきます。</p> <p>なお、総合戦略に基づく取組を、より市民の皆さまに開かれたかたちで進めていくため、本ビジョン懇談会は公開会議とさせていただきます。また会議録におきましても、市の公式ホームページにて公開させていただきますので、ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。なお、会の途中で傍聴される方が入室する場合もございますので、ご了承いただければと存じます。</p> <p>また、本会議終了後、10時から総合計画の審議会を予定しておりますが、この審議会についても公開会議にさせていただきます関係で、開始時間の変更ができません。誠に申し訳ありませんが、専門委員の皆様におかれましては、本会議の進行によってはお待ちいただく時間帯ができる可能性もありますので、ご了承ください。</p> <p>それでは、本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>本日は、前回の第3回に引き続き、次期総合戦略策定のための業務を委託している、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社のご担当者にもお越しいただいております。</p> <p>次に、資料の確認をさせていただきます。今回使用する資料は、会次第、資料1 第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略体系図（案）、資料2 第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）、資料3 今治市人口ビジョン（改定案）、資料4 地方創生推進交付金事業効果検証調査（稼ぐ力を創出するスポーツと文化による地域活性化事業）となっております。あわせて、「配席図」を机上に配布させていただきます。また、先般お渡しした資料1の体系図と資料2の総合戦略（案）は変更がありましたので、机に配布させていただきます資料の方をご覧ください。</p>

	<p>皆様、資料は揃われておりますでしょうか。</p> <p>では、ここからの進捗を座長にお願いしたいと思います。</p>
座長	<p>それでは、進めさせていただきます。お手元の会次第でございますように、本日は議事1件、報告1件、以上の案件がございます。まず、議事1「第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について」につきまして、事務局からご説明いたします。</p>
事務局	<p>それでは、赤字で資料1と記載しております、A3で1枚ものの体系図（案）と、赤字で資料2と記載しております、A4の冊子の第2期総合戦略（案）をお願いします。</p> <p>昨年11月に開催いたしました第4回ビジョン懇談会で委員の皆様から頂いたご意見を参考にさせていただきながら、総合戦略（案）に取りまとめております。</p> <p>まず、資料2の総合戦略（案）の1ページをご覧ください。総合戦略の位置づけです。</p> <p>第2期の総合戦略は、本市のまちづくりの最上位計画である第2次今治市総合計画において、人口減少対策と地域課題の解決を図るための重点施策として取りまとめた「ふるさと共創（走）システム」を、地方創生のリーディングプロジェクトとして取りまとめたものになります。</p> <p>2ページの「3対象期間」です。総合戦略の計画期間を6年間としております。総合計画と一体的な取組みを進めるため、最終年度を総合計画の期間に合わせることにし、令和7年度までとしております。</p> <p>ここで、総合戦略の構成についてご説明いたします。資料1の体系図をご覧ください。</p> <p>左から2列目に、基本目標とあります。4つの基本目標からなり、それぞれの基本目標ごとに、「数値目標」として、第2期総合戦略の計画期間である6年間で達成する目標値を掲げています。</p> <p>3列目に4つの「基本的方向」、4列目に「具体的施策、パッケージ」とあります。さらにその右側にそのパッケージに示した施策を実現するための具体的な事業を「取組」としてまとめたものが、資料2の総合戦略（案）でございます。</p> <p>本日は、具体的な事業の主要なものを体系図の取組の右側に、赤色の文字で記載しています。</p> <p>続いて資料2の3ページをご覧ください。総合戦略の策定にあたっての基本的な考え方を示しております。</p> <p>人口減少に歯止めをかけて将来的に人口構造を変えていく「積極戦略（未来への投資）」と、人口減少に対応し、効率的かつ効果的な社会システムを再構築する「調整戦略（将来への備え）」を並行して進めていきます。</p> <p>また、実施に際しては、国の進めるIoT、ロボット、人工知能（AI）、ビッグデータ等の先端技術を産業や社会生活に取り入れた社会を意味する「Society5.0の推進」、持続可能な世界を実現するための目標である「SDGsの実現」といったものを基本的な考え方として取り入れていきたいと考えております。なお、社会情勢や時代の変化にもスピード感を持って的確に対応し、必要に応じて柔軟に戦略の改訂を行ってまいりたいと考えています。</p>

それでは、体系図に戻っていただき、左から3列目、4つの基本的方向に沿って、主要な取組の内容をご説明いたします。

基本的方向の1つ目、青色の部分、「いまばりに安定した雇用を創出する」としまして、「しごとの創生」です。

その右側、具体的施策（パッケージ）の「(ア) 海事とタオルのまちづくり」です。

取組の「①次世代の人材育成」では、本市の基幹産業である海事産業、繊維産業における、人材の確保・育成を図るため、海事産業では、「今治地域造船技術センター」の運営や、高校や海事関連の教育機関との連携強化を図ります。

繊維産業においては、デザインなどの技能人材の育成、繊維染色加工業にもスポットを当て、技術顕彰や技術伝承による認知度向上、人材育成につなげます。

「②今治海事都市構想の推進」では、海事産業のさらなる競争力強化を目指すため、国内外の情勢も視野に入れながら、海事都市構想の改訂とさらなる推進、国内外に向けて発信していく海事ブランドの創造事業などを進めていきます。

「③今治タオルプロジェクトの推進」においては、産地ブランドとして確立された今治タオルについて、一層のブランド力強化、販路開拓などを支援していきます。また、外国人技能実習制度においても、地域限定職種「タオル仕上げ（仮称）」の追加に向け、支援することとしています。

次に、具体的施策の上から2つ目、「(イ) 食品やエネルギー等地域産業とともに成長するまちづくり」です。

ここでは、食品産業やエネルギー産業をはじめとする全国的に競争力を持つ企業や本市を支える多彩な産業の成長、新産業の創出を促します。

取組の「①人材還流・人材育成・雇用対策」では、若い方のふるさと回帰、地元就職を促進するためにも、小学生から大学生まで、各段階に応じ、「ふるさとリクルート」としまして、本市企業・産業の魅力発信、U I J ターン就職や起業・創業を促進してまいります。

また、農林水産業への新規就業者の確保とそのサポート、また、医療・介護・福祉の充実のためにも、福祉医療人材については、復職支援についても取組みます。

「②地域産業の競争力強化」の部分では、本市を支える多彩な産業の成長、新産業の創出を促します。

「③農林水産業の競争力強化」の部分では、地域の特色を活かした農林水産物をはじめとして、ブランド化、生産性の向上による収益向上につながる取組を支援していきます。

これらの取組を進めることにより、基本目標1「だれもがこの地で元気に働けるふるさとを創る」の数値目標を、「新たな雇用を創出し、6年間の転出超過数を、マイナス4,842人からマイナス2,743人に抑制する」としております。

続きまして、基本的方向の2つ目、赤色の部分、「若い世代の出会い・結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる」として、「ひとの創生」です。

具体的施策（パッケージ）の「(ア) 少子化対策の強化」です。

「①切れ目のない支援のための拠点整備」では、現在設置しております「子育て世代包括支援センター」に加えて、子どもとその家庭、妊産婦さんを対象に、継続

的支援を行う「子ども家庭総合支援拠点の設置」や、病児保育事業の拡充を図ります。

「②出会い・結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援」では、本市の実情に応じて、きめ細かく、切れ目ない支援を引き続き推進することとしております。

「(ウ) 郷土愛を育む教育」です。

教育の観点から、子どもたちに今治市に愛郷心を持ってもらい、今治に住み続けたい、将来今治市に帰ってきたいと思ってもらえる充実した教育環境づくりを目指します。

「①キャリア教育・郷土愛の醸成」として、「ふるさと」をキーワードに、市内の子どもたちが今治市の産業に触れ、勤労観・職業観を養うとともに、地元への愛着と郷土への誇りを持ち、暮らし続けたいと思えるような教育プログラムを立ち上げ、夢や希望をもって地域を支える人材を育成します。

「②充実した教育環境の整備」として、市内の小中学校へ電子黒板やタブレット端末、無線 LAN 整備といった、ICT 教育環境の整備を進め、本市を担う子どもたちの学習環境の充実を図ります。

これらの取組を進めることにより、基本目標 2「未来を担う子どもたちをみんなで育むふるさとを創る」の数値目標を、「子ども子育て支援事業計画におけるニーズ調査における今治市における子育ての環境や支援の満足度の割合 17.3% (2018 年) を上昇させる」としております。

続きまして、基本的方向の上から 3 つ目、オレンジ色の部分、「いまばりへ新しいひとの流れを創る」としまして、「交流の創出」です。

具体的施策の「(ア) サイクルシティ構想のしんか」です。

昨年 1 1 月に、しまなみ海道サイクリングロードが国のナショナルサイクルートの第 1 次指定を受けましたが、これを契機に、「しんか」ということばで、進める、深める、価値をさらに高めるという意味で、「サイクリストの聖地」として、次のステップへ取組を進めていくこととしており、3 月策定予定の「今治市サイクルシティ推進計画」に沿って、新たに整備する今治駅前サイクリングターミナルと拡張整備を行ったサイクリングターミナル「サンライズ糸山」を活かして、「いまばりへ人の流れを創る」という観点での取組をしっかりと進めていきます。

次に、具体的施策の「(イ) スポーツのまちづくり」です。

「①スポーツツーリズムによる更なる交流人口の拡大」では、FC 今治の J リーグ昇格を起爆剤に、スポーツによる地域活性化を展開することとしております。

市内で行われる各種イベントや FC 今治のホーム戦をとおして賑わい創出を図るとともに、各種大会やイベント、合宿の誘致も進め、スポーツツーリズムを推進します。

「②スポーツのまちの拠点づくり」では、官民連携した体制を構築します。

「③スポーツを通じた健康増進」においては、健康ポイント制度などを活用しながら、誰もが気軽に生涯にわたって運動・スポーツに関われる機会の創出や環境整備を行います。

「④スポーツを通じた人材育成」では、スポーツを通じて青少年の健全育成を図るとともに、誰もがスポーツに関わることができる機会を創出し、スポーツ参画人

口の拡大、また、ジュニアやトップアスリート、指導者の育成などに取り組みます。
続きまして、「(ウ) 広域観光周遊ルートの形成」です。

日本遺産村上海賊を全国に発信するため、令和2年度に開催する「日本遺産フェスティバル in 今治」をきっかけとして、本市が有する様々な観光資源を活かした観光地の拠点づくりを充実させます。

また、インバウンドのニーズに応えられるよう、受入れ環境の充実にも努めます。
次に、「(エ) 移住・定住促進と関係人口の拡大」です。

移住希望者をワンストップでサポートできる環境整備に取り組むとともに、穏やかな気候、自然災害が比較的少ないという点も、本市の特徴として、効果的なプロモーションを実施します。

また、国が地方創生の新たな視点として打ち出している関係人口については、現在ふるさと納税をきっかけに、本市とのつながりを強化する取組みを進めることとしています。

次に、「(オ) 大学等を核としたまちづくり」です。

今治明德短期大学や岡山理科大学獣医学部等市内の高等教育機関と連携し、地域課題解決や共同研究、学生のまちづくり活動参画支援など、大学等と地域がともに発展するまちづくりに取り組みます。

次に、「(カ) 今治ブランドの推進」です。

アイアイ今治の取組みを中心として、今治の多様な資源・魅力をシンプルで明快なマスターブランドとして、その魅力をわかりやすく丁寧に市内外に発信するとともに、市民には魅力ある地域資源を再認識してもらい、今治に愛着や誇りを持ってもらい、将来住みたい、住み続けたいという意識を持ってもらうことを目指します。

これらの取組により、基本目標3の「だれもが訪れたいと感じる魅力あふれるふるさとを創る」の数値目標は、観光入込客数を、2019年の286.8万人、2025年に307.5万人、+7.2%とすることを目標としております。

続きまして、緑色の部分、「好循環を支える、ふるさとを活性化する」として、「まちの創生」の部分です。

ここは、先に述べました、「しごと」と「ひと」と「交流」の好循環を支える「まち」の機能充実の取組を示しております。

「(ア) 安心して暮らせる生活圏の形成」では、定住自立圏共生ビジョンの推進と、コンパクト・プラス・ネットワークの本格的推進としています。

島しょ部をはじめ、地域の方は、そこで生活する上においては、公共交通をはじめとした交通網が欠かせないものであり、「今治市地域公共交通網計画」に基づいた交通ネットワークの確立を図りたいと思います。

「(イ) 日本でいちばん住みたい地域づくり」では、合併で周辺地域となった旧町村部において、地域の実情に応じたまちづくりへの取組みを進めてまいりたいと考えております。

「(ウ) の多文化共生のまちづくり」です。

外国人住民の増加を背景に、外国人の労働や生活面等をサポートする相談窓口を設置し、外国人が住みやすく、選ばれるまちづくりを推進します。

	<p>これらの取組により、基本目標4「中心部と周辺部が連携した日本でいちばん住みたい地域を創る」の数値目標として、市民アンケートにおける「今治市に住み続けたいと感じる市民の割合」を2019年の79.0%から上昇させることを目標としています。</p> <p>具体的な取組は以上となります。詳細については、資料2「第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」の5ページから51ページに記載しておりますので、後程ご覧ください。</p> <p>最後に、資料2「総合戦略(案)」の53ページをご覧ください。</p> <p>推進組織と検証体制ということで、このビジョン懇談会の中で、事業の進捗確認と効果検証を行い、PDCAサイクルを実行してまいりたいと思います。</p> <p>委員の皆様には、引き続き、何卒ご協力をお願いいたします。</p> <p>「今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略について」の説明は以上です。</p> <p>なお、資料3としまして、今治市人口ビジョン(改訂案)をお配りしておりますが、前回の会でお配りしたものと内容に変更はありません。</p> <p>ただ、最新の人口動向として、(人口ビジョンと統計種別が異なりますので記載はしていませんが、)今治市市民課が集計しました令和元年分の住民基本台帳年報に基づく数値が出ておりますので、資料3の人口ビジョンの平成30年までのデータと見比べていただきながら、ご説明をさせていただけたらと思います。</p> <p>人口ビジョンの9ページをご覧ください。</p> <p>図表11の出生数と死亡数についてですが、日本人のみの集計で、令和元年の出生数が890人です。この数年間、1,000人台で推移しておりましたが、一気に900人を切りました。死亡は2,247人で、差引マイナス1,357人となっており、過去10年で最大の減少数となっております。</p> <p>次に、7ページをご覧ください。</p> <p>図表8の自然動態及び社会動態の推移のうち、転入・転出を示す右側の社会動態についてですが、転入者数3,145人、転出者数3,963人で、差引マイナス818人の転出超過です。こちらも、転出超過の多かった、平成25年の転出超過マイナス832人、平成26年のマイナス827人と近い転出超過数となっております。</p> <p>結果、令和元年の1年間で本市の人口は2,175人減少しています。</p> <p>非常に厳しいデータが出ており、早急に人口減少への取組を進める必要があると考えております。</p> <p>資料3に関する追加説明は以上です。</p> <p>最後に、先程説明した総合戦略(案)は、本日のこの会の中で頂いたご意見を反映させ、市議会にもお諮りしたうえで、3月中の策定・公表に向けて進めてまいりたいと思います。</p> <p>忌憚ないご意見等をいただければと思いますので、よろしくご協力いたします。</p>
座長	<p>ありがとうございました。</p> <p>第2期総合戦略の策定に関する説明は以上になります。</p> <p>これまでの説明や資料内容を通して、ご意見・ご質問等ございませんでしょうか。(質問等なし。)</p> <p>かまいませんでしょうか。</p>

	<p>会の終了後でもかまいませんので、気づいた点やご意見等あれば、事務局へご連絡いただければと思います。</p> <p>今後の流れとしましては、頂戴したご意見を踏まえ調整し、3月の市議会において、議会から意見を頂戴したうえで、最終版を策定、3月の末に公表いたします。委員の皆様には、後日確定版をお送りいたします。議事1の、第2期総合戦略の策定につきましては、以上とさせていただきます。</p> <p>そうしましたら、会次第にございますとおり、報告の案件「地方創生推進交付金事業（平成30年度実施事業）の効果検証結果について」に移らせていただきます。内容について、事務局よりご説明いたします。</p>
事務局	<p>それではご説明いたします。資料4をご覧ください。本年度第2回の懇談会において、地方創生推進交付金事業「稼ぐ力を創出するスポーツと文化による地域活性化事業」について、ご意見を専門委員の皆様から頂戴し、効果検証を実施したところでございます。その後、最終の取りまとめを行い、お手元の資料のような評価内容となりましたので、委員の皆様にご報告させていただきます。</p> <p>以上でございます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。以上で全ての議事・報告が終了いたしました。続きまして、ビジョン懇談会の今後の予定について、事務局よりご説明いたします。</p>
事務局	<p>それではご説明いたします。今年度のビジョン懇談会につきましては今回は最後となりますが、来年度も今年度と同様、地方創生関連の各種交付金を充当しました事業の効果検証作業がでございます。</p> <p>また、総合戦略及び共生ビジョンKPIの効果検証も引き続き必要となっております。</p> <p>さらに、来年度には第3次今治市定住自立圏共生ビジョンの計画期間最終年度を迎えます。定住自立圏構想の取組みは、引き続き行ってまいりたいと考えておりますので、次期計画の策定の際は、委員の皆様から様々なご意見を頂戴できたらと考えております。</p> <p>来年度第1回の懇談会は5月頃を予定しておりますので、委員の皆さまにおかれましては、引き続きご協力を賜りますようお願いいたします。以上でございます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。今年度のビジョン懇談会につきましては、今回は最後となります。委員の皆さまにおかれましては、大変お忙しいなか、4回に渡る会の運営にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。</p> <p>それでは、本日は長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございました。これを持ちまして、令和元年度第4回「今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会」を閉会といたします。</p> <p>皆様、本日はどうもありがとうございました。</p>